

社会科（公民的分野）学習指導案

日 時 平成24年10月19日（金） 第2校時
場 所 南阿蘇村立長陽中学校
年 組 西原村立西原中学校 3年2組
男子19名 女子12名 計31名
指導者 西原村立西原中学校 教諭 増永 善久

1 単元名「1 消費生活と市場経済」（教育出版P120～133）

2 単元について

(1) 単元観

本単元は学習指導要領「内容」(2)私たちと経済の「ア 市場の働きと経済」にあたる場所である。具体的には「経済を動かす三つの主体」「家計の役割」「流通のはたらき」「市場のはたらき」などの項目から構成され、身近な消費生活を中心に具体的事例を取り上げ、経済活動の意義を理解させるとともに価格の働きに着目させて市場における価格の決め方や資源の配分について理解させることをねらいとしている。

最近の日本の経済は、国際金融市場の混乱、円高の進行、国内の高い人件費、内外における需要の低迷、政治不安と不安定要素が多く、複雑さを増している。また、ICTの発達により、流通形態や支払い方法の多様化が見られる。生徒は主に消費者として経済活動を行っているが、経済活動の意義や市場経済の基本的な考え方は十分認識していないと考えられる。しかし、テレビや雑誌、インターネットからあふれ出す商品の情報を得て、コンビニや大型ショッピングセンターを頻繁に利用し、常に消費活動を行っている生徒たちにとって、経済活動は生活と深い関わりを持つ重要なものである。

本単元では、身近な消費生活を中心に経済活動の意義を理解させるとともに、価格の働きに着目させて市場経済の基本的な考え方について理解させることをめざしている。このことで経済活動が日々の生活に密接に結び付き、生活の維持向上につながることに気づかせることができる単元である。さらに、消費生活中心とした経済活動を「対立と合意」「効率と公正」の視点から判断し、適切に表現することができる単元である。

(2) 系統観

本単元における系統は以下の通りである。

小学校社会科
第3・4学年
見直そうわたしたちの暮らし
第5学年
食料生産・工業生産を支える人々



中学校社会科	
第1学年	第3学年
身近な地域の調査	わたしたちがつくる社会
↓	
第3学年	
わたしたちの暮らしと経済 消費生活と市場経済（本単元）	
↓	
第3学年	
わたしたちの暮らしと経済 生産のしくみと企業・金融	

(3) 生徒観

本学級は、男子19名、女子12名、計31名の明るく元気の良い学級である。また、素直で、意欲的に考えたり、周囲の発言もしっかりと聞いたりすることができるなど学習態度も良好である。しかし、全体の中で自分の意見を述べることには、消極的な生徒も見られるし、自分の考えをまとめ、相手に伝わるよう表現することを苦手とする生徒もいる。特に女子生徒の授業での発言は少ない。

また、小集団学習では意欲的に自分の意見を出す生徒も見られるが、他の意見に同意するだけの生徒もいる。他の意見を聞き、議論などを通して、自分の考えを深めたりするところまで達していない生徒が多い。

社会科の学習では、新しいものを学ぶ楽しさや小学校より深く学習する楽しさに興味を示していることが感じられる生徒もいるが、約50%の生徒が覚えることが多く社会は苦手だと感じている。公民的分野の授業に入ってから、3分の1程度の生徒が「語句が難しい」「思考することが難しい」と答えている。

本単元に関するアンケート調査（31名）の結果は、以下のとおりである。

経済という語句	説明できる（6%） 聞いたことがある（94%） 聞いたこともない（0%）
家計	説明できる（13%） 聞いたことがある（84%） 聞いたこともない（3%）
流通	説明できる（13%） 聞いたことがある（71%） 聞いたこともない（16%）
需要と供給	説明できる（10%） 聞いたことがある（64%） 聞いたこともない（26%）
価格の決まり方	説明できる（6%） 説明できない（94%）
消費者を守る制度で知っているものがあれば答えなさい。 PL法（1名） 相談窓口（1名）	
あなたはどこでよく買い物をしますか？。（複数回答） 大型ショッピングセンター（19名） コンビニエンスストア（16名） 専門店（4名） ディスカウントショップ（5名） 小型スーパー（4名） 100円ショップ（1名）	
インターネットで商品を購入したことがありますか？ ある（14名） ない（1名） ないが商品が買えることは知っている（16名）	
西原村の生産されている農産物にはどのようなものがありますか。 サツマイモ（30名） 牛乳（10名） 落花生（9名） 肉牛・養豚（7名） シイタケ（6名） さといも（4名） など	

経済の用語や事象については漠然と知っているという生徒が多かった。特に消費者を守る制度については、知識がない生徒がほとんどであった。生徒たちの消費生活はコンビニや大型ショッピングセンターを中心に行われ、インターネットを利用したオンラインショッピングにも関心が高い。西原で生産されている農作物についてはほとんどの生徒がサツマイモをあげていたが、牛乳も主要な農産物と考えている生徒も3分の1ほどいた。

将来、経済に深い関わりをもつ生徒たちにとって、消費生活を中心に経済の学習を進めることはとても有意義であることを十分に自覚させたい。

(4) 指導観

- ・経済的用语や事象を確実におさえるため、ワークシートの工夫を行うとともに、確認テストで定着を図る。
- ・自分の考えをまとめ、相手に伝わるよう表現することを苦手とする生徒が見られるため、小集団学習を取り入れる。小集団学習で自分の考えをもとに、自分とは異なる考えや立場があることを知り、自分の考えの不十分さや誤りに気付くことを通して、自分の考えを深めることを目指す。
- ・どのような根拠のもとに、どのようなことを考え、どのような結論を導き出したかなど、伝える相手をしっかり意識させ、自分の言葉でまとめる活動を積極的に取り入れる。
- ・地元西原のゲストティーチャーの支援を受けることによって、経済活動が身近なところでも行われていることおさえる。また、西原で生活されている方の生き方に学び、現在の自分と重ね、将来の自分へとつなげていく社会参加型学習も進めていきたい。

3 単元の目標

関心・意欲・態度	身近で具体的な事例を取り上げ、個人の消費生活に関する関心を高め、それを意欲的に追求している。また、今日の経済活動に関する諸問題に着目し、個人の経済活動について考えることができる。
思考力・判断力・表現力	社会における流通の役割や市場のはたらきについて、個人や企業の経済活動に関わるさまざまな事象から課題を見だし多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。また、対立と合意、効率と公正などの視点からも考察することができる。
技能	個人の消費生活に関する資料を収集し、経済活動の意義や市場経済の基本的な考え方などについての学習に役立つ有用な情報を適切に選択し、読み取り、図表などにまとめることができる。
知識・理解	経済活動の意義が人間の生活の向上にあること、また、市場経済においては、企業や個人は価格を考慮しつつ、何をどれだけ生産・消費するか選択していることなど市場経済の基本的な考え方について理解し、その知識を身に付けることができる。

4 単元の指導計画（7時間取扱い）

次	時	主な学習活動と身につけたい能力や資質	評価
1	1	「身のまわりから『経済』をさぐる」 身近な生活でのお金のやりとりの場面を出し合い、消費生活と市場経済の関わりについて考える。	身のまわりにあるさまざまなお金の行方や、お金の使い方についての関心を高め、個人の経済活動について考えようとしている。 (ワークシート)【関心・意欲・態度】
2	1	「家計とはなんだろう」 家計の果たす役割を、財やサービスの供給と、消費や貯蓄との関わりから理解する。	家計が果たす役割について、財やサービスの供給や、消費や貯蓄との関わりから理解している。 (ワークシート)【知識・理解】
3	1	「消費者を守るもの、支えるもの」 経済活動を支えるものとして、信用が大切であることに気づき、消費者の安全や権利を守るために、さまざまな法律や制度が定められていることをまとめる。	消費者の四つの権利、消費者基本法、消費者庁設立など、消費者を守る法律や制度に対する取り組みの具体例について調査し、わかりやすくまとめる。 (ワークシート)【技能】
4	1	「生産と消費をつなぐもの」 (商業の役割を知る) 流通のしくみを理解し、自分たちの生活と流通との関わりに気づく。	生産された商品が消費者の手元に届くまでの流通経路や、さまざまな流通のしくみについて理解し、その知識を身につけている。 (ワークシート)【知識・理解】
5	1	「ものの価格の決まり方」 地元の農作物の価格変動を調べ、需要と供給と価格の関係について考え、市場経済のしくみを理解する。	需要と供給曲線のグラフから、需要量と供給量のそれぞれの意味や、その関係によって均衡価格が決まることを読み取っている。 (ワークシート)【技能】
6	1	「価格のもつ意味」 身のまわりにある商品のうち、生産や販売サービスが集中して寡占状態にある商品に関する情報を収集し、競争の役割を通して、市場が機能するために必要な条件を考える。	市場が機能するための条件や、財やサービスの種類によっては市場に適さないものがある理由について関心を高め、考えようとしている。 (ワークシート)【思考・判断・表現】
7	1 本時	「なぜ、価格の高い牛乳が売れるのだろうか。」(西原産の牛乳を通して) これまでの経済学習を活用し、価格の高い牛乳が売れる理由を説明することができる。	これまでの経済学習などを活用し、具体的な商品を取り上げて、付加価値のある商品が売れる理由を考え、説明することができる。 (ワークシート)【思考・判断・表現】

5 本時の学習

(1) 本時の目標

○これまでの経済学習などを活用し、価格の高い牛乳が売れる理由を考え、自分の言葉で説明することができる。

(2) 本時の展開

過程	時間	主な学習活動	学習形態	教師の指導 (予想される生徒の反応)	教材・資料等
導入	5分	1 2つの牛乳の違いを確認する。	個人	○2つの牛乳は、どんな点が違うのだろう。 ・味が違う。 ・味がいい方は高い。 ・購入した場所はスーパー・コンビニ・直売所・インターネット販売が考えられる。 ○西原産の牛乳が買える方法などを示す。	
展開	38分	2 今日の学習内容を知る。		○価格の高い牛乳が売れている実態を示す。	
		3 資料をもとに、価格の高い牛乳が売れる理由を考える。 (1) ゲストティーチャー(GT)の話聞く。 (2) GTの気持ちをふまえ、さらに西原にあるGTの牧場の牛乳を売するためのキャッチコピーを考える。	個人 → グループ グループ → 個人	○牛乳の価格が高くても売れるのはどうしてだろう。 ○既存の経済学習、西原にある牧場のホームページ、地域の自然などの資料を組み合わせることで説明ができるようにする。 ・流通ルートを工夫している。 ・製造方法が違う。 ・安心安全を重視している。 ○西原で牛乳を生産し、販売されている生産者の方から話を聞いてみましょう。 ○自分の考えをキャッチコピーの形で作って、それを考えた理由を書く。 ・既存の経済学習(流通ルート、価格)、消費者の立場、生産者の立場、産地、新鮮さ、安全安心などの観点から理由を考えさせる。	ワークシート 資料映像 ワークシート 評価①
まとめ	7分	4 発表を聞く		○キャッチコピーとそれを考えた理由を発表させる。 ・GTからのコメントをもらう。	

(3) 本時の評価

場面	評価基準
評価①	A：生産者の立場も考慮し、これまでの経済単元の学習内容を含め2つ以上の観点を示し、付加価値の高い牛乳が売れる理由を説明することができる。(ワークシート) B：生産者の立場も考慮し、これまでの経済単元の学習内容を含め観点を示し、付加価値の高い牛乳が売れる理由を説明することができる。(ワークシート)